

平成 23 年度のフロン回収・破壊法に基づく業務用冷凍空調機器からのフロン類回収量等の集計結果について(お知らせ)

- 「特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律」(以下「フロン回収・破壊法」という。)に基づく第一種特定製品(業務用エアコン及び業務用冷蔵・冷凍機器。以下「業務用冷凍空調機器」という。)からのフロン類の平成23年度回収量等の集計結果をまとめました。
- 平成 23 年度において、回収されたフロン類の量は約 3,958 トン(対前年度比約 63 トン増)、フロン類を回収した業務用冷凍空調機器の台数は約 123 万台(対前年度比約 7 万台増)でした。
- 環境省では、今後ともフロン回収・破壊法施行の徹底を図り、経済産業省や都道府県等と連携してフロン類の回収の促進等に努めます。また、今後のフロン類等のさらなる排出抑制に向けての検討を進めます。

1. 平成 23 年度に回収されたフロン類の量は約 3,958 トン(対前年度比約 63 トン増。以下、括弧内は対前年度比。)、回収された業務用冷凍空調機器の台数は約 123 万台(約 7 万台増)であり、それらの内訳は以下のとおりです。
 - 機器の廃棄時等:約 2,579 トン(約 183 トン増)、約 99 万台(約 8 万台増)
 - 機器の整備時:約 1,379 トン(約 120 トン減)、約 24 万台(約 2 万台減)
2. このうち、廃棄時等回収についてみると、回収量及び回収台数は前年度と比べてそれぞれ約 183 トン増加(約 7.6%増)及び約 8 万台増加(約 9.3%増)しています。
3. このように、業務用冷凍空調機器に係るフロン類の回収は着実に実施されていますが、廃棄時等のフロン類回収率で見ると約3割と推定され、依然として低い水準で推移しているため、引き続き回収徹底の取組を進める必要があります。
4. このため、環境省では、経済産業省、国土交通省や都道府県等と連携しつつ、フロン回収・破壊法の周知徹底と施行強化をさらに取り組んでまいります。また、中央環境審議会地球環境部会フロン類等対策小委員会及び産業構造審議会化学・バイオ部会地球温暖化防止対策小委員会の合同会議において、今後のフロン類等の排出抑制に関して総合的な検討が進められているところであり、その内容等を踏まえて、更なるフロン類の回収の促進に向けて所要の検討を進めてまいります。

＜本発表資料のお問い合わせ先＞

環境省地球環境局地球温暖化対策課フロン等対策推進室

電話:03-5521-8329(直通)

経済産業省製造産業局化学物質管理課オゾン層保護等推進室

電話:03-3501-4724(直通)

(別紙) 業務用冷凍空調機器からのフロン類回収量集計結果の詳細

1. 背景

フロン回収・破壊法（「特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律」）によって、業務用冷凍空調機器（業務用エアコン及び業務用冷蔵・冷凍機器）の廃棄時等及び整備時において、冷媒として使用されているフロン類を適正かつ確実に回収することとなっております。

同法により、第一種フロン類回収業者（業務用冷凍空調機器から冷媒フロン類を回収するため都道府県知事に登録を受けている者）は、前年度に回収したフロン類の量等を都道府県知事に毎年度報告し、都道府県知事はその報告に係る事項を主務大臣（環境大臣及び経済産業大臣）に通知しなければならないこととされています。主務大臣は、この通知事項等を整理して特定製品に係るフロン類の回収の状況等の情報を公表することとされており、今回の公表はこの規定に基づくものです。

2. 平成23年度のフロン類回収量、前年度との比較、フロン種類別の実績

表1 第一種フロン類回収業者による回収量等（平成23年度）

		CFC	HCFC	HFC	合計
合計	回収した第一種特定製品数 (台)	62,944	538,777	628,339	1,230,060
	回収量 (kg)	184,771	2,850,497	922,322	3,957,590
	23年度当初の保管量 (kg)	20,100	127,684	64,098	211,882
	破壊業者に引き渡された量 (kg)	117,707	2,130,967	708,332	2,957,006
	再利用等された量 (kg)	68,581	718,582	209,289	996,453
	23年度末の保管量 (kg)	18,573	128,404	68,725	215,702
廃棄時	回収した第一種特定製品数 (台)	59,505	434,116	498,137	991,758
	回収量 (kg)	137,750	2,089,593	351,554	2,578,897
	23年度当初の保管量 (kg)	14,076	71,251	15,765	101,091
	破壊業者に引き渡された量 (kg)	105,105	1,628,311	282,208	2,015,624
	再利用等された量 (kg)	33,897	455,026	65,195	554,119
	23年度末の保管量 (kg)	12,813	77,340	19,875	110,029
整備時	回収した第一種特定製品数 (台)	3,439	104,661	130,202	238,302
	回収量 (kg)	47,020	760,905	570,768	1,378,693
	23年度当初の保管量 (kg)	6,024	56,433	48,333	110,791
	破壊業者に引き渡された量 (kg)	12,602	502,657	426,123	941,382
	再利用等された量 (kg)	34,684	263,556	144,094	442,334
	23年度末の保管量 (kg)	5,760	51,064	48,850	105,674

注1 小数点第一位を四捨五入したため、数値の和は必ずしも合計欄の値に一致しない（以下同じ）。

注2 「廃棄時等」とは、廃棄する場合に加え、商品等のリサイクルを目的としてリサイクル業者等に機器を譲渡する場合も含む（以下同じ）。「整備時」とは、機器の整備・点検の際にフロン類の抜き取り作業を行う場合（以下同じ）。

注3 「再利用等された量」とは、フロン類回収業者が自ら再利用した量、及びフロン類を再利用する者又はフロン類破壊業者に確実に引き渡す者として都道府県知事が認める者に引き渡された量の合計（以下同じ）。

表2 フロン類回収量等の前年度との比較

		平成22年度	平成23年度	増減	増減率(%)
合計	回収した第一種特定製品数 (台)	1,164,158	1,230,060	65,902	(5.7 %)
	回収量 (kg)	3,894,726	3,957,590	62,864	(1.6 %)
	23年度当初の保管量 (kg)	203,499	211,882	8,384	(4.1 %)
	破壊業者に引き渡された量 (kg)	2,971,753	2,957,006	-14,747	(-0.5 %)
	再利用等された量 (kg)	902,599	996,453	93,853	(10.4 %)
	23年度末の保管量 (kg)	222,353	215,702	-6,650	(-3.0 %)
廃棄時	回収した第一種特定製品数 (台)	907,103	991,758	84,655	(9.3 %)
	回収量 (kg)	2,396,261	2,578,897	182,635	(7.6 %)
	23年度当初の保管量 (kg)	106,198	101,091	-5,107	(-4.8 %)
	破壊業者に引き渡された量 (kg)	1,937,199	2,015,624	78,424	(4.0 %)
	再利用等された量 (kg)	455,717	554,119	98,402	(21.6 %)
	23年度末の保管量 (kg)	108,351	110,029	1,677	(1.5 %)
整備時	回収した第一種特定製品数 (台)	257,055	238,302	-18,753	(-7.3 %)
	回収量 (kg)	1,498,464	1,378,693	-119,771	(-8.0 %)
	23年度当初の保管量 (kg)	97,300	110,791	13,491	(13.9 %)
	破壊業者に引き渡された量 (kg)	1,034,553	941,382	-93,171	(-9.0 %)
	再利用等された量 (kg)	446,882	442,334	-4,548	(-1.0 %)
	23年度末の保管量 (kg)	114,001	105,674	-8,327	(-7.3 %)

表3 フロン類の種類別の台数及び回収量の前年度比較

		CFC		HCFC		HFC	
		台数 (台)	回収量 (kg)	台数 (台)	回収量 (kg)	台数 (台)	回収量 (kg)
合計	平成22年度 (構成比)	72,615 6.2%	216,230 5.6%	571,284 49.1%	2,861,674 73.5%	520,259 44.7%	816,821 21%
	平成23年度 (構成比)	62,944 5.1%	184,771 4.7%	538,777 43.8%	2,850,497 72.0%	628,339 51.1%	922,322 23.3%
	増減	-9,671	-31,459	-32,507	-11,177	108,080	105,501
廃棄時	平成22年度 (構成比)	68,561 5.9%	163,331 4.2%	451,300 38.8%	1,963,650 50.4%	387,242 33.3%	269,280 6.9%
	平成23年度 (構成比)	59,505 4.8%	137,750 3.5%	434,116 35.3%	2,089,593 52.8%	498,137 40.5%	351,554 8.9%
	増減	-9,056	-25,581	-17,184	125,943	110,895	82,274
整備時	平成22年度 (構成比)	4,054 0.3%	52,899 1.4%	119,984 10.3%	898,024 23.1%	133,017 11.4%	547,541 14.1%
	平成23年度 (構成比)	3,439 0.3%	47,020 1.2%	104,661 8.5%	760,905 19.2%	130,202 10.6%	570,768 14.4%
	増減	-615	-5,878	-15,323	-137,120	-2,815	23,227

(参考) 廃棄時等の回収率について

業務用冷凍空調機器の廃棄時等における冷媒フロン類の回収率は、機器の年度別出荷台数、経年別廃棄台数割合、フロン類初期充填量等から廃棄時残存冷媒量を経済産業省において推計し、これと廃棄時等回収量との比率で算定しています。

平成23年度の廃棄時残存冷媒量は約8,872トンと推計され、同年度の廃棄時等回収量は約2,579トンであることから、フロン類の廃棄時等回収率は約29%と推定されます。

整備時については、要整備機器台数や整備対象機器の含有冷媒量の推計が困難なため回収率は算定されていません。

参考1 フロン類廃棄時回収率の推移

	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度
廃棄時 回収率	35%	29%	30%	31%	32%	27%	28%	30%	31%	29%

参考2 回収量の推移

(単位：t)

	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度
廃棄時 回収量	1,958	1,889	2,102	2,298	2,542	2,273	2,276	2,190	2,396	2,579
整備時 回収量	-	-	-	-	-	895	1,497	1,411	1,498	1,379
合計	1,958	1,889	2,102	2,298	2,542	3,168	3,773	3,601	3,895	3,958